

昭和44年度 和歌山県文化賞

さん どう まさ はる
山 東 正 晴 (号 光風)

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：明治38年

◎業績及び経歴

昭和3年東京美術学校卒業後教職につき、戦前は和歌山高等女学校の美術担当教諭として生徒を指導すること18年、戦後は和歌山市内公立中学校長を歴任して17年間に及ぶ。昭和39年中学校長を退職すると同時に日本画教室三光会を開設して、今日まで逸材の養成に努めている。

氏は東京美術学校在学中、平田松堂先生から日本画の指導を受けて以来、常に教職のかたわら自らの研さんを積み、昭和27年には中村貞以先生に師事して更に努力を重ねた。こうして、同年以来今日まで院展(春・秋)に入選すること16回の多きをかぞえ、本県関係の入選者中最高の入選回数を持つ栄誉を保っている。この努力が認められ、昭和36年日本美術院院友に推挙され現在に至っている。入選作品中の代表的なものは昭和38年の「寂」、昭和41年の「懐古」、昭和44年の「帰牧」である。

氏は三光会を主幹し、また春泥会委員として日本画の指導に専任するほか、県美術家協会副会長として、本県美術界の発展にも貢献している。戦前の和歌山高女における長年の美術教育への貢献、戦後、三光会等の指導を通して本県美術界の発展向上に尽くした功績は大きい。